

～ 行政改革の主な取組みをご紹介します ～



「行政運営」 ～効果的・効率的な行政運営の推進～

AI、RPAの導入・活用

業務の効率化に向けて、データの読取り・入力等の定型かつ非専門的な業務を対象にAI-OCRを4業務、RPAを6業務に導入しました。

提案・改善報告制度の推進

職員の創意工夫や改善意欲を生かした提案・改善報告制度を運用しています。令和3年度からは提案を随時受付するとともに、提案審査を年2回に増やすなど、提案・改善報告制度の見直しによる活性化を図りました。

職員の接遇能力の向上

公務員として品位を損なわず、節度ある服装の範囲内において、働きやすく業務能率を高めることで市民サービスの向上につなげることを目指して、一年を通じてノーネクタイやスニーカー（運動靴）での勤務を可能とする「スマートビズ」を導入しました。



「財政運営」 ～健全財政の維持に向けた取組み～

市税等の収納率維持のための取組み

令和3年4月よりスマートフォン決済アプリ「PayPay」「LINEPay」を新たに運用開始しました。

新たな自主財源の確保

新たに広告付き窓口呼出しシステムを導入し、財源を確保します。また、ふるさと納税ポータルサイトを4社から6社に拡大し、寄附者の利便性向上ならびに寄附促進に努めています。

行政改革推進懇談会を開催しました

～行政改革の推進と市民サービスの向上を目指して～

外部有識者と市長による意見交換を通して、本市の行政改革の取組みに対して意見をいただく「行政改革推進懇談会」を昨年12月21日に開催しました。

懇談会で出された意見を踏まえ、今後のさらなる行政改革の推進と市民サービスの向上に取り組んでいきます。



懇談会のようす

懇談会の構成 ※敬称略

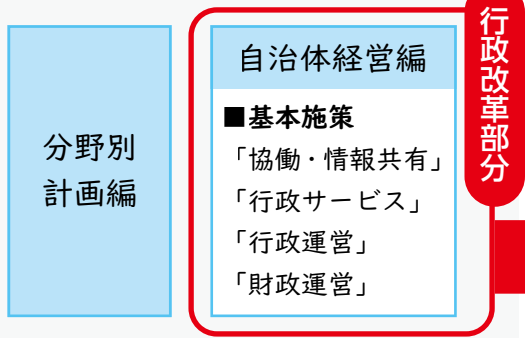
- 萩原 聡央 (座長、名古屋経済大 法学部教授)
- 浦田 真由 (名古屋大 情報学部准教授)
- 岡田 和明 (名古屋経済大 法学部特任教授)
- 栗林 芳彦 (名古屋文理大 情報メディア学部教授)
- 後藤 久貴 (公認会計士)
- 横山 幸司 (滋賀大学 経済学部教授)
- 山下 史守朗 (小牧市長)

懇談会の主な発言内容は、市ホームページ (QRコードから) で公開しています▶



小牧市の行政改革とは？

小牧市まちづくり推進計画の構成



小牧市では、市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画」の中に自治体経営編として、4つの基本施策を定め、その具体的な取組み項目を「自治体経営改革推進計画」にまとめて実施しています。

4つの基本施策の内容について
具体的な取組項目（50項目）をまとめた
「自治体経営改革推進計画」により推進

行政改革の取組みは、その4つの基本施策である「協働・情報共有」「行政サービス」「行政運営」「財政運営」により、市民の皆さんから信頼される市政運営を持続的に推進しています。ここでは、主な取組内容をご紹介します。



自治体経営改革推進計画は市ホームページ（QRコードから）で公開中▲



「協働・情報共有」 ～市民と行政の協働によるまちづくり～

市民活動支援、協働機会の充実

市民活動助成金の3団体への交付を決定しました。また、令和3年度から、市民がこれまで培ってきた学びの成果を地域に還元する「地域に還元チャレンジ助成金」を新たに創設し、6団体への交付を決定しました。

情報提供の充実

LINEなどのSNSでも積極的な情報提供を行っていますが、新型コロナワクチン接種の予約受付でLINEを活用したことにより「友だち」数が大幅に増加しました。



「行政サービス」 ～行政サービスの質の向上～

施設予約システムの改善

令和5年1月の稼働を目指し、オンライン予約やキャッシュレス決済などの機能を持たせた新たなシステムを構築していきます。

窓口業務の改善

今年2月から、証明発行や住民異動等の窓口において、利用者が申請書にほとんど記載することなく手続きが行える「こまきスマート窓口」を導入しています。

